

## トピックス

## 2025年大阪・関西万博「RITE 未来の森」出展報告

2025年大阪・関西万博室長 中神 保秀

2025年4月13日から10月13日まで開催された大阪・関西万博は、延べ約2,558万人が来場し、世界各国が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに多彩な展示を行いました。RITEは、未来社会ショーケース事業「グリーン万博」のシルバーパートナーとして、DACを中心としたネガティブエミッション実証プラント「RITE 未来の森」を出展しました。本講演では、その全体概要と実施成果について報告します。

「RITE 未来の森」は、会場南東部のカーボンリサイクルファクトリー内に位置し、約1,200 m<sup>2</sup>の敷地にDAC実証プラント、ガイダンスホール、各種展示を配置しました。「未来の森」という名称には、森が果たしてきた役割を科学技術によって再現するという理念を込めています。アテンダントによる解説付きの見学ツアーを開催し、日本最大級の稼働中DAC実証プラントの見学をはじめ、ガイダンスホールでは、太古から続く地球の炭素循環が崩れたことで生じた地球温暖化問題を解説し、カーボンニュートラル達成に必要なDACを中心としたネガティブエミッション技術を、一般の来場者にも分かりやすい映像で紹介しました。この建築自体も注目を集め、大型CLTパネルを折り紙のように折り上げた「CLT折版構造」は、持続可能性と造形美を両立した木造建築として高く評価され、ウッドデザイン賞を受賞しました。展示では、RITEが長年取り組んできたCO<sub>2</sub>地中貯留技術や各種DAC技術、鉱物固定化技術、CO<sub>2</sub>有効利用（CCU）などを体系的に紹介し、これらを統合した「DAC-CCUS」によるネガティブエミッション社会の実現像を提示しました。体験型展示や模型を用いた説明により、専門家から子どもまで幅広い層がCO<sub>2</sub>削減技術を理解できるよう工夫しました。

会期中には、国内外の閣僚や研究機関、企業関係者、一般の来場者など延べ18,610名の方々に御越しいただきました。来場者アンケートでは、96%の方が見学ツアーに「満足」、同じく96%の方がCCUSへの「理解が深まった」と回答し、科学技術に対する社会的理解の向上に寄与したことが確認されました。さらに「第1回EXPOイノベーション・アワード」において、The Expo Special Recognition Award for Cross-Sectoral Enlightenment（分野横断的啓発賞）を受賞し、RITE 未来の森グループの万博での活動が高く評価されました。

今後は、この成果をRITE本部（京都府木津川市）に継承し、CLT折版構造のガイダンスホールを万博レガシー施設として移設・再利用を検討しています。

「RITE 未来の森」は、万博という世界的な発信の場を通じて、地球温暖化対策の重要性やネガティブエミッション技術への社会受容性の向上と共感の広がりにも寄与する役割を果たすことができました。RITEは今後も、革新的な地球温暖化対策技術の研究開発を通じて、2050年カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

## 中神 保秀

2023年7月より  
現職。

RITEには2回目  
の勤務、2012年  
から2017年まで

RITEのCO<sub>2</sub>貯留研究グループ、企  
画調査グループ、システム研究グ  
ループに在籍。

1989年関西電力（株）入社。

